

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

夏休みの親子で絵画&工作教室

～糟屋地区家庭教育支援チーム（かすや子育て研究会かぶとむし）～

令和元年8月11日（日）、なみきスクエアの工作室にて「夏休みの親子で絵画&工作教室」を開催しました。講師は、薄祥子氏、大内史絵氏の2名です。夏休みの絵画や工作等の宿題について、多く子どもや保護者から「どうしたらよいか分からない」「親としてどう教えたらいかが分からない」という話を聞き、本教室は企画されました。そこで、専門的な知識をもつ講師が子どもに絵画や工作を教え、その様子を親が見て一緒に学ぶということにしました。そのため、親子での参加としました。

参加者は30名でした（大人12名、子ども18名）。午前に絵画、午後に工作に取り組みました。

午前の絵画教室では、「カタツムリ、釣ったフグ、川遊び、家族旅行、選挙ポスター」等がテーマになっていました。多くの親子を悩ませる背景の塗り方について、講師の先生が具体的な方法を親子に伝えていました。子どもの描きたい気持ちに寄り添いながら、やってみせて、やらせてみせて、褒めて、認める声かけをされていました。参加した保護者は、我が子が目の前で教えられている姿から、具体的な指導方法を学ぶことができました。



【講師の教え方について交流している保護者】



【絵の背景の描き方を学ぶ子ども】

午後は、個々が準備した材料をもとに、様々なテーマでの工作を楽しみました。その場の状況や素材を生かして、講師が適切にアドバイスをすることで、親子でアイデアを発想しながら楽しく工作できました。



【段ボールを使って思い思いに工作をする子ども】

参加者からは、「なかなか家ではできないので、こういう場を用意していただいていることに感謝している。親子がじっくり向き合える時間にもなる。また、久しぶりに会う家族との交流にもなった。ぜひ、来年も、企画して欲しい。」との声が上がりました。